

令和3年度 樹木と緑化の総合技術講座

開催日：前期講座 令和3年6月1日(火)～6月30日(水)

WEB配信（期間中何度でも視聴可能）

後期講座 令和3年8月24日(火)～27日(金)

ホテルマークワンつくば研究学園リベラホール

筑波大学構内

筑波実験植物園

研究学園駅前公園

主 催 一般財団法人 日本緑化センター

後 援 公益社団法人 日本造園学会

(予定) 樹木医学会

一般社団法人 日本植木協会

一般社団法人 日本樹木医会

一般社団法人 日本造園組合連合会

一般社団法人 日本造園建設業協会

一般財団法人 日本造園修景協会

一般社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会

この講座は造園 CPD・樹木医 CPD の認定プログラムに申請中です。

講座内容は当センターホームページでご覧いただけます。

http://www.jpgreen.or.jp/event/jyumoku_ryokka/index.html

令和3年度 樹木と緑化の総合技術講座のご案内

近年、社会環境が激しく変動する中で、求められる森林・緑地の役割も、CO₂削減や生物多様性の保全などグローバルな視点で考えるレベルのものから、生活空間の防災、環境保全、景観アメニティなど身近な視点で考えるレベルのものまで非常に多様化しております。このような変化に迅速に対応していくためには、樹木に関わる科学的知識と緑化に関する最新の知見に裏打ちされた総合的な企画力と実践力が求められています。本講座は樹木の生態から緑化技術、維持管理技術など樹木と緑化に関わる基礎知識などを修得するとともに、樹木の生態・構造、維持管理の必要性を理解し、現場での様々な課題を解決するための手法をトータルの学ぶことを主眼として開催します。

このため、緑化行政担当者には緑化事業の適正な管理・運営の基礎を理解する機会に、緑化専門技術者には専門技術の基礎を見直す機会に、緑に関心を持つ一般の方にも分かり易く学べる機会になるようなカリキュラムとしておりますので、社員・職員研修あるいは自己研鑽の場等として活用していただきますよう、参加のご案内を申し上げます。

1. 開催日時・場所

本講座は前期と後期に分けて開催いたします。

(1) 前期講座

- 1) 配信期間：令和3年6月1日（火）～6月30日（水）
- 2) 場所：WEB 配信（live 配信ではありません。何度でも視聴可能です。）

(2) 後期講座

- 1) 期間：令和3年8月24日（火）～27日（金）
- 2) 場所：ホテルマークワンつくば研究学園 リベラホール
（〒305-0817 茨城県つくば市研究学園 5-13-5 TEL. 029-875-7272）
筑波大学構内（茨城県つくば市天王台 1-1-1）
筑波実験植物園（茨城県つくば市天久保 4-1-1）
研究学園駅前公園（茨城県つくば市学園南 2-1）

2. 講座スケジュール

令和3年度樹木と緑化の総合技術講座スケジュール及び講座概要（P. 3～6）のとおりです。

3. 受講料(税込) 前期 11,000 円/日 後期 15,000 円/日 8日間(以上)受講 1 割引

- ※ 受講は1日単位（前期は1コースを1日とします）です。科目単位での受講は出来ません。
- ※ 同一会社内で複数の申し込みが可能です。同時のお申し込みで合計8日間以上の参加については割引対象となります。※割引の併用はできません。
- ※ 日本緑化センター賛助会員の受講料は上記受講料の**2 割引き**です。賛助会員であるか確認を行った上で、賛助会員の方は受講申込書に記入してください。※割引の併用はできません。
- ※ テキスト代を含みます。
- ※ 宿泊費・交通費は含みません。

4. 自然再生技術研修会 (<http://www.jpgreen.or.jp/saiseishi/p07.html#houhou2>)

この講座は「自然再生士登録更新対象講座として位置づけています。前期4コースのうちいずれか2コース以上受講すると自然再生士登録更新要件となります。対象者は自然再生士6期1376番～8期2089番、2016～2018年更新者、および未更新（1～5期）の方です。自然再生士更新対象の皆様へ「令和3年度自然再生技術研修会 修了証」を発行しますので、**申込の際に申請**してください。

5. 緑サポーター養成研修 (<http://www.jpgreen.or.jp/supporter/index.html>)

この講座は「緑サポーター養成研修」として位置づけています。本講座を6日以上受講し、登録を希望する者が規定の登録申請書の提出および登録料を納付すると“緑サポーター”として登録いたします。“緑サポーター”とは、樹木医の指導の下で緑の保全に関する相談、指導等の補助的な活動を行う者です。平成11年から開始され、令和3年3月1日現在1,438名（登録者）が緑サポーターとして登録され、そのうち23名が樹木医となり活躍しています。“緑サポーター”に登録後、樹木医の指導の下で年間30日間活動を行うと樹木医研修受講者選抜試験の一年分の実務経験となります。緑化関係以外の職業の方も樹木医試験にチャレンジし樹木医になる道が開けます。ただし、日本緑化センターは樹木医を紹介することはできません。ご指導いただく樹木医はご自身でお探しいただきます。

6. 定員 前期定員無し 後期40名／日

7. 宿泊

後期講座に参加される方は、後期会場であるホテルマークワンつくば研究学園の宿泊施設 (<http://www.mark-1.jp/tsukuba/index.html>) を利用することができます。同ホテルの宿泊料金は1人1泊素泊まりで6,000円（税込）です。

8. 参加申込み

参加ご希望の方は、「受講申込書」に所定の事項をご記入の上、**前期：令和3年5月21日（金）まで、後期：令和3年8月13日（金）まで**にFAXまたは郵便またはEメールにてお申し込み下さい。新型コロナウイルス感染症対策を徹底するため定員になり次第締め切らせていただきます。

9. 前期講座テキストおよび URL の送付について

前期講座をお申し込みの皆様へ令和3年5月28日（金）にテキストをレターパックライトでご指定の住所へお送りし、配信 URL を**メール送信**します。（送付先の住所及びメールアドレスは、間違いが無いように、わかりやすい文字で、丁寧にお願いします。）

10. 受講のキャンセルについて

受講を**事前キャンセル**（キャンセル締切：前期5月27日、後期：8月19日）された場合は受講料をお返しいたします。ただし、受講通知発送等事務手数料（2,000円（税込）・資料印刷代を含む）および返金のための振込手数料（実費）をご負担いただきます。

11. 申込み・問合せ先

一般財団法人日本緑化センター 緑化事業部 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル2階
TEL：03-3585-3561／FAX：03-3582-7714／Email：sougouk@jpgreen.or.jp（担当：小田川）

令和3年度（2021） 樹木と緑化の総合技術講座スケジュール

<前期>

WEB配信（配信期間中は何度でも視聴可能です）

前期 ①コース	①-1 (90分)	植物の生育環境と その分布 濱野 周泰 (東京農業大学客員教授)	①-2 (90分)	植物の構造と生理生態 福田 健二 (東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)	①-3 (90分)	植物（樹木）の特徴と その取扱い特性 金澤 弓子 (東京農業大学 造園科学科 准教授)	①-4 (90分)	樹形の意味～剪定の理論 堀 大才 (NPO法人樹木生態研究会 最高顧問)
	②-1 (90分)	(仮) 設計監理なくして造園植 栽なし 山本 紀久 (㈱愛植物設計事務所 会長)	②-2 (90分)	土壌の基礎知識と 植栽基盤としての 望ましいあり方 水庭 千鶴子 (東京農業大学 造園科学科 教授)	②-3 (90分)	植栽工事に係る基本的考え方と 配植・植え付けのポイント 山下 得男 (株式会社富士植木)	②-4 (90分)	樹木管理に係る基本的な考え方 と育成・維持管理 内田 均 (東京農業大学 地域創成科学科 教授)
前期 ③コース	③-1 (90分)	芝及び地被植物の基礎知識と 育成・維持管理 高橋 新平 (東京農業大学造園科学科 教授)	③-2 (90分)	草花植栽の基礎知識と 花壇の植栽・管理 奥 峰子 (㈲ホリーホックガーデン 代表取締役)	③-3 (90分)	野生の草花と里山の再生 麻生 嘉 (一財) 日本緑化センター 主任研究員)	③-4 (90分)	農薬の取り扱い方法 の基礎知識 (独) 農林水産消費安全技術センター 農薬検査部)
	④-1 (90分)	緑化樹木の腐朽病害 阿部 恭久 (元) 日本大学 生物資源科学部 教授)	④-2 (90分)	樹木の病害の基礎知識 金子 繁 (元) 独) 森林総合研究所 関西支所長)	④-3 (90分)	樹木の虫害の基礎知識 北島 博 (国研) 森林研究・整備機構 森林総合研 究所 森林研究部門 森林昆虫研究領域 昆虫生態研究室長)	④-4 (90分)	樹木のリスク管理の 現状と課題 細野 哲央 (一社) 地域緑化技術普及協会 代表)

※配信期間が変更になる場合があります。ご承知おき下さい。

※講義の流れにより配信時間が変わる場合があります。造園CPDについては申請（変更含む）に1ヶ月以上の期間が必要とされるため、編集後の配信時間と認定時間に差異が生じる場合があります。

（変更含む）に1ヶ月以上の期間が必要とされるため、編集後の

令和3年度 樹木と緑化の総合技術講座【前期】 講座概要

講義科目・講師名	講義のポイント
植物の生育環境とその分布 濱野 周泰 (東京農業大学 客員教授)	植物の生育に係る環境要因を確認するとともに、植物の自然分布や植栽分布について解説する。
植物の構造と生理生態 福田 健二 (東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)	植物を構成する各エレメントの構造を確認するとともに、植物の生長の仕組み等を解説する。
植物(樹木)の特徴とその取扱い特性 金澤 弓子 (東京農業大学造園科学科 准教授)	植物としての樹木の特徴と植栽上・管理上の特性について、都市の代表的な樹種を通して解説する。
樹形の意味～剪定の理論 堀 大才 (NPO法人樹木生態研究会最高顧問)	緑化木の成育環境が悪化する中で、景観・安全と樹木の健康を両立させる剪定はどうあるべきか、新しい知見に基づく剪定の基本原理は何か、剪定の種類、技法、留意点はどうあるべきかを解説する。
設計監理なくして造園植栽なし 山本 紀久 (㈱愛植物設計事務所 会長)	植物の配植設計に係る基本的事項を解説するとともに、植栽工事における設計監理のポイントを解説する。
土壌の基礎知識と植栽基盤としての望ましいあり方 水庭 千鶴子 (東京農業大学造園科学科 教授)	土壌学の基礎や植物との係わりを確認するとともに、植栽基盤としての望ましいあり方(物理性・化学性)を解説する。
植栽工事に係る基本的考え方と配植・植え付けのポイント 山下 得男 (㈱富士植木 コミュニティビジネス推進部長)	植栽工事を実施する際に留意すべきポイントについて、現場の視点で解説する。
樹木管理に係る基本的考え方と育成・維持管理 内田 均 (東京農業大学地域創成科学科 教授)	植物の管理を行っていくための基本的考え方を確認するとともに、育成管理・維持管理に係る留意事項を解説する。
芝及び地被植物の基礎知識と育成・維持管理 高橋 新平 (東京農業大学造園科学科 教授)	芝草及び地被植物の特性等を確認するとともに、育成管理等に係る留意事項を解説する。
草花植栽の基礎知識と花壇の植栽・管理 奥 峰子 (㈱ホリーホックガーデン 代表取締役)	草花植物の特性等を確認するとともに、花壇の植栽・管理に係る留意事項を解説する。
野生の草花と里山の再生 麻生 嘉((一財)日本緑化センター)	野生の草花の特性等を確認するとともに、多様性豊かな里山環境を再生するためのポイントを解説する。
農薬の取り扱い方法の基礎知識 (独)農林水産消費安全技術センター 農薬検査部)	樹木を対象とした農薬の安全・的確な取り扱い方、農薬登録情報データベースの役割と使用方法、総合的病虫害管理((IPM: Integrated Pest Management))の基本的な考え方について解説する。
緑化樹木の腐朽病害 阿部 恭久 (元日本大学生物資源科学部 教授)	樹木の倒木等の大きな原因のひとつである木材腐朽菌による病害について、そのメカニズムや見分け方等を確認するとともに、その対策等について解説する。
樹木の病害の基礎知識 金子 繁 (元森林総合研究所関西支所長)	樹木等に害を与える主な病原の特性と生育への影響を確認するとともに、その対策について解説する。
樹木の虫害の基礎知識 北島 博 (森林総合研究所 昆虫生態研究室長)	樹木等に害を与える主な虫害の特性と生育への影響を確認するとともにその対策について解説する。
樹木のリスク管理の現状と課題 細野 哲央 (㈱地域緑花技術普及協会代表)	緑化等の安全管理をとりまく現状の問題点や課題について、実際の事例をもとに解説する。

※講師及び内容について一部変更することがあります。ご承知おき下さい。

令和3年度（2021） 樹木と緑化の総合技術講座スケジュール

<後期>

ホテルマークワントックば研究学園、筑波実験植物園、筑波大学構内、研究学園駅前公園

時刻	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
8月24日 (火)	受付・注意事項説明	9:00～11:00 都市樹木の点検の実際 細野 哲央 (一社)地域緑花技術普及協会 代表 場所：マークワントックば	9:00～11:00 都市樹木の点検の実際 細野 哲央 (一社)地域緑花技術普及協会 代表 場所：マークワントックば	11:15～12:45 植栽基盤の調べ方と改善方法～ 現状の把握と改善方法～ 川九 邦雄 (㈱テラパックス・テクノニカ 代表取締役) 場所：マークワントックば	11:15～12:45 植栽基盤の調べ方と改善方法 (座学) ～現状の把握と改善方法～ 川九 邦雄 (㈱テラパックス・テクノニカ 代表取締役) 場所：マークワントックば	バス移動	14:00～16:30 植栽基盤の調べ方と改善方法 (実習) ～長谷川式等調査器具の使い方がわかる ～ 川九 邦雄 場所：筑波大学構内	バス移動	14:00～16:30 植栽基盤の調べ方と改善方法 (実習) ～長谷川式等調査器具の使い方がわかる ～ 川九 邦雄 場所：筑波大学構内	質疑応答	現地解散		
8月25日 (水)	受付・注意事項説明	9:00～10:15 樹木の病害診断と対策・ 座学 金子 繁 (元)独)森林総合研究所 関西支所長 場所：マークワントックば	10:30～11:45 樹木の虫害診断と対策・ 座学 北島 博 (国研)森林研究・整備機構 森 林総合研究所 森林研究部門 森林昆虫研究領域 昆虫生態研究室長 場所：マークワントックば	10:30～11:45 樹木の虫害診断と対策・ 座学 北島 博 (国研)森林研究・整備機構 森 林総合研究所 森林研究部門 森林昆虫研究領域 昆虫生態研究室長 場所：マークワントックば	バス移動	13:15～16:00 樹木の病害診断と対策・実習 金子 繁 樹木の虫害診断と対策・実習 北島 博 ※2班に分かれ2回開催 場所：筑波実験植物園	バス移動	13:15～16:00 樹木の病害診断と対策・実習 金子 繁 樹木の虫害診断と対策・実習 北島 博 ※2班に分かれ2回開催 場所：筑波実験植物園	バス移動	13:15～16:00 樹木の病害診断と対策・実習 金子 繁 樹木の虫害診断と対策・実習 北島 博 ※2班に分かれ2回開催 場所：筑波実験植物園	質疑応答	現地解散	
8月26日 (木)	受付・注意事項説明	9:00～12:30 樹木剪定の実際 古平 貞夫 (㈱古平園 代表) 場所：筑波大学構内	9:00～12:30 樹木剪定の実際 古平 貞夫 (㈱古平園 代表) 場所：筑波大学構内	9:00～12:30 樹木剪定の実際 古平 貞夫 (㈱古平園 代表) 場所：筑波大学構内	9:00～12:30 樹木剪定の実際 古平 貞夫 (㈱古平園 代表) 場所：筑波大学構内	13:30～17:00 樹木移植の実際 山下 得男 (㈱富士植木 モニタリング推進部長) 場所：筑波大学構内	13:30～17:00 樹木移植の実際 山下 得男 (㈱富士植木 モニタリング推進部長) 場所：筑波大学構内	13:30～17:00 樹木移植の実際 山下 得男 (㈱富士植木 モニタリング推進部長) 場所：筑波大学構内	13:30～17:00 樹木移植の実際 山下 得男 (㈱富士植木 モニタリング推進部長) 場所：筑波大学構内	13:30～17:00 樹木移植の実際 山下 得男 (㈱富士植木 モニタリング推進部長) 場所：筑波大学構内	13:30～17:00 樹木移植の実際 山下 得男 (㈱富士植木 モニタリング推進部長) 場所：筑波大学構内	13:30～17:00 樹木移植の実際 山下 得男 (㈱富士植木 モニタリング推進部長) 場所：筑波大学構内	13:30～17:00 樹木移植の実際 山下 得男 (㈱富士植木 モニタリング推進部長) 場所：筑波大学構内
8月27日 (金)	受付・注意事項説明	9:00～12:30 樹木診断実習 (カルテ作成) 堀 大才 (NPO法人樹木生態研究会最高顧問) 場所：研究学園駅前公園・マークワントックば	9:00～12:30 樹木診断実習 (カルテ作成) 堀 大才 (NPO法人樹木生態研究会最高顧問) 場所：研究学園駅前公園・マークワントックば	9:00～12:30 樹木診断実習 (カルテ作成) 堀 大才 (NPO法人樹木生態研究会最高顧問) 場所：研究学園駅前公園・マークワントックば	9:00～12:30 樹木診断実習 (カルテ作成) 堀 大才 (NPO法人樹木生態研究会最高顧問) 場所：研究学園駅前公園・マークワントックば	13:30～15:30 樹木診断実習 (発表) 堀 大才 場所：マークワントックば	13:30～15:30 樹木診断実習 (発表) 堀 大才 場所：マークワントックば	13:30～15:30 樹木診断実習 (発表) 堀 大才 場所：マークワントックば	13:30～15:30 樹木診断実習 (発表) 堀 大才 場所：マークワントックば	15:50～17:00 休憩	15:50～17:00 樹勢総合診断 実施事例の解説 堀 大才 場所：マークワントックば	15:50～17:00 樹勢総合診断 実施事例の解説 堀 大才 場所：マークワントックば	15:50～17:00 樹勢総合診断 実施事例の解説 堀 大才 場所：マークワントックば

※講師及び場所については当日一部変更することもあります。ご承知おき下さい。

令和3年度 樹木と緑化の総合技術講座【後期】 講座概要

講義科目・講師名	講義のポイント
都市樹木の点検の実際 細野 哲央 ((一社)地域緑花技術普及協会代表)	樹木等の安全管理をとりまく現状の問題点や改善策について、具体的に解説する。
(座学) 植栽基盤の調べ方～現状の把握と改善方法～ (実習) 植栽基盤の調べ方と改善方法～長谷川式等調査器具の使い方がわかる～ 川九 邦雄 (有)テラパックス・テクニカ 代表取締役)	緑化植物の生育を大きく左右する植栽基盤(土壌)整備の設計・施工・管理について、具体的なデータと実例をもとに、各事業段階で必要な調査のポイント、進め方について解説し、その原理からすぐに役立つ実用上の要点を震災復興の特殊条件等も踏まえてわかりやすく解説する。 午後の部では、野外において各事業段階でポイントとなる調査内容を解説しながら、調査手順が明らかになるように実演し、そこで得られた調査データの解析を行う。
樹木の病害診断と対策 金子 繁 (元森林総合研究所関西支所長)	実習を通じて、緑化木に発生する病害の病原とその生態、及びその対策などを解説する。
樹木の虫害診断と対策 北島 博 (森林総合研究所 昆虫生態研究室長)	緑化木に発生する虫害の診断のポイント、その対策は何か。木の葉や幹、土の中などに産み付けられた虫の卵、幼虫や蛹、食害痕などを直接観察し、その特徴を解説する。
樹木剪定の実際 古平 貞夫 (有)古平園 代表)	高木剪定について、基本剪定(冬期剪定、基本樹形の骨格枝を作る)と軽剪定(夏期剪定、樹幹の乱れや混み過ぎを直す)の要領、常緑樹や落葉樹の特性を活かした剪定の要領を実演し、剪定の留意点を解説する。
樹木移植の実際 山下 得男 (株)富士植木 コミュニティビジネス推進部長)	高木移植の根回しと掘取について、根回しは鉢径の決め方・断根法の要領・林試移植法(環状剥皮、バーク堆肥の施用など)の要領を、掘取については掘り下げ・整根・枝抜きを要領を実演し、移植の留意点を解説する。 また、昨年実施した林試移植法(断根法)による根回し一年後の発根状況を確認する。 (※現場の状況に応じて内容が変更となります。)
樹木診断実習 堀 大才 (NPO法人樹木生態研究会 最高顧問)	樹木の健康度・衰退度・危険度の決め手となる診断項目毎の判定要領、カルテの作成方法、総合判定の考え方と手順について実習を通して解説する。対象木を決め、受講者が樹木診断様式をもとに判定し、その結果をもとに討議する。

※講師及び内容について一部変更することがあります。ご承知おき下さい。

